

世界がきこえる 世界がみえる

楽器の博物館



No.134
2021年 春号

■企画展

勇壮なラッパと
華麗なお囃子

好評
開催中

開催
決定

〈企画展〉
琵琶～こころと
かたちの物語～

■レクチャーコンサート

伝統再発見 語りの平家・じな
地無し尺八・きぬいと
白繭の箏

見どころ聴きどころ解説：八橋流箏曲 てん・仁智さん

ワークショップエリアに「がっ木」が登場!

ギャラリートークで博物館が100倍楽しくなる!

■Museum Voice

〈学芸員の談話室〉私のイチオシ楽器【タムタム】

〈楽器博物館お仕事図鑑①〉移動楽器博物館

「博物館だより」
がリニューアル
しました！

企画展

勇壮なラッパと華麗なるお囃子

《好評開催中》

2021年5月11日(火)まで

浜松市で毎年5月3、4、5日に開催される浜松まつり。昼間は勇壮な凧揚げ合戦、夜には壯麗な御殿屋台の引き回しが行われます。この熱く盛り上がる3日間に欠かせないものが楽器たちです。ラッパ、笛、鼓や三味線などが、掛け声とともに各所でにぎやかに鳴り響きます。

この企画展では、まつりで活躍する楽器たちとそのルーツを、浜松まつりの歴史とともにご紹介しております。



この企画展の関連イベントの講師を務めていただく奥中康人先生に、今回の企画展の見どころなど、お話を伺いました。

Q 浜松まつりで使われるラッパとはどんな楽器ですか？

A 浜松まつりのラッパは円すい形金管楽器の《ビューグル》。形が似ているトランペットとは全くの別物。トランペットはバルブやピストンが付いていますが、ビューグルは限りなく原型をとどめた状態で今でも使われている楽器なんですよ。



Q ズバリ！浜松まつりのラッパの魅力とは？

A 粗野なサウンドです。浜松まつりの期間だけラッパを手にする人が演奏するメロディーの軽やかさや、グルーヴ感はとっても魅力的。私〔奈良県出身〕も10年くらい前から早出町でラッパを吹いているけど、あの絶妙なノリは全然出せないんですよ。地元に生まれ育ったからこそ出せる音だと思う。浜松は「ラッパを吹ける人の数」が日本一っていう調査結果もあるんだけど、これはきっと、この浜松まつりがあるからで、浜松オリジナルの文化としてもっと誇ってもいいんじゃない？

Q 先生がオススメする展示の見方や、楽器のぜひ観察して欲しいポイントは？

A シンプルで丸っとしたフォルムに注目してほしいです。めちゃくちゃカワイイですね。ミニアックな話だけど、ラッパは、円すい状の管を職人さんが一本一本、手作業で曲げているんです。このアール（曲線）がとっても美しいでしょ。ベルに向かって広がっていくところは、まるで富士山の裾野の広がりみたい。展示してあるラッパには、ラッパ好きの友達から借りてきたものもあります。



改造ラッパ

中には、自分の好みとか必要性に応じて、ラッパをカスタマイズしている人もいるんです（写真：改造ラッパ）。楽器職人じゃないので、自分で作り変えちゃう熱意って、すごいですよ。これも浜松ならでは！

現場調査中



奥中康人先生とラッパ

2003年頃からラッパの研究を開始。2012年頃より浜松まつりに参加。以降、毎年まつりの期間にラッパを吹くのが習慣となっている。
静岡文化芸術大学教授。



開催予告

企画展

琵琶

ここところとかたちの物語

7月31日(土)～12月8日(水)

「琵琶」と聞いて何をイメージされるでしょうか？多くの人は果物や湖を真っ先に思い浮かべられるでしょうが、物語「耳なし芳一」や、かるたの百人一首にも登場する「蠅丸法師」、そして「弁天様」が抱え演奏している楽器がそれです。どこ

かできつと一度はご覧になったことのある楽器「琵琶」ですが、その歴史や音楽に馴染みがある方は少ないでしょ。

日本で最も古い楽器のひとつといえる琵琶。祖先となる楽器が西アジアから中国を経由し、約1200年前に日本に伝わりました。ヨーロッパのリュートなど世界に仲間があり、それらの楽器の形が教えてくれるのは、この壮大な東西文化交流の足跡です。

日本「きた琵琶」は、様々な音楽とそれに適した楽器の形を生み出しました。琵琶の種類には、雅楽を演奏する「楽琵琶」、平家物語の弾き語りに用いる「平家琵琶」、九州の盲僧「薩摩琵琶」などがあります。ひとつの楽器がひとつの文化の中でこれほど多様化した例は珍しいでしょ。これらの琵琶のつくりや音などの微妙な違いは、各々どのような目的で演奏されたのかや、製作家と演奏家が追求した音の理想とその心がいかなるものであつたのかを伝えられます。

本展では、「琵琶」誕生の背景にある世界の人々の東西交流史から、日本での琵琶音楽の展開、そして楽器と音楽に反映される美術や工芸などの文化までを広く取りあげます。

楽器が語る「ものがたり」を通して、奥深い琵琶の世界と一緒に探検してみませんか？



常設展の琵琶。左から薩摩琵琶、筑前琵琶、平家琵琶。

ワークショップエリアに「がつ木」が登場!

大きな幹は、
地下1階にある
オセアニアのあの楽器！
実物もとっても
大きいよ★

花便りのうれしい季節となりました。
あたたかくなると気分もワクワク
してきますね！
春の訪れとともに、ワークショップ
エリアでは大きながつ木が登場。
この季節にぴったりな楽しみを
ご用意いたしました。

体験コーナーでは、
いろいろな楽器に
チャレンジできるよ！
お気に入りの楽器は
あるかな？



世界中の楽器で作った、大きな「がつ木」。
いろいろなかたちをしているね！
展示中の楽器も隠れているよ、みんなで探してみよう！

桜のカードに「春からはじめたいこと」を書いて
「がつ木」に桜を咲かせよう。
みんなの想いで少しづつ桜が咲いてきます。
満開になっていくのが楽しみだね！



Spring

今年の春は、楽器博物館の「がつ木」でお花見気分♪
SNSで桜の開花情報を随時更新予定。こちらも要チェックです！

ギャラリー
トーク

博物館が100倍楽しくなる！

ギャラリートークという言葉をご存じですか？

ギャラリートークとは、博物館や美術館のスタッフが、来館されたお客様に直接解説をすることで、浜松市楽器博物館でも1日に4回職員による楽器の解説を行っています。それぞれの楽器の特徴や奏法はもちろん、楽器の成り立ちやその国の民俗文化、歴史の話からちょっとした裏話まで様々な視点で楽器を紹介しており、中には実際に目の前で音が聴けるものも。(まさに楽器博物館ならでは！)

200年前の楽器の音ってどんな音？この楽器はどんな素材でできているの？遠いあの国の音楽は…なんだかわくわくできませんか？楽器を通して、行ったことのない国について知ったり、昔の人に思いを馳せてみたり、楽しみ方は数えきれないほど。博物館がより面白くなること間違いなしです。ギャラリートークでお会いできるのを楽しみにしています。



開催
時間

- ① 11:00 ~ ② 12:30 ~ ③ 14:00 ~ ④ 15:30 ~

※各回10分程度

ギャラリートーク開催スケジュールはHPをご確認ください。
各イベントやプログラムは予告なく中止になることがあります。

実際のギャラリートークの様子を
動画でご覧いただけます。



Museum Voice

学芸員の 談話室 私のイチオシ楽器

[タムタム]

記念すべき第一回目は浜松市楽器博物館の顔ともいえるヴァヌアツの「タムタム」をご紹介します。

南太平洋に位置するヴァヌアツは、80以上の島々からなる共和国です。そのうちのいくつかの島には、儀式や通信に使用される巨大な割れ目太鼓「タムタム」があります。オセアニアに分布する割れ目太鼓は地面に水平に置かれているものが多いのですが、タムタムは地面から垂直、あるいはやや斜めに立っていることが特徴です。割れ目の上部には精霊の顔をあらわした彫刻が彫り込まれています。大きなものは高さが5mほどもあるようで、当館で展示しているアンブリア島のタムタムもなんと4mもの高さがあります！地下の天空ホールにそびえたつタムタムさん。下から眺めるのも圧巻ですが、すぐそばの螺旋階段で地下に下る途中からご覧いただくと迫力のわりにキュートな表情が見られますよ。可愛いお顔に見とれて階段を踏み外さないようにご注意くださいね！（笑）



タムタムの演奏風景を動画でご覧いただけます。



音楽が大好きな皆さん、
ぜひご参加ください！

世界の楽器ミニコンサート ♪出演者大募集♪



館内の天空ホールで楽器演奏および説明ができる出演者を募集します。

日時：7月～11月の土・日・祝日
14:00～／15:30～
(1日2公演 各回30分程度)

対象：高校生以上
(プロアマ問わず)

♪ボランティア募集♪



浜松市楽器博物館の運営をサポートしてくださるボランティアスタッフを募集します。

説明会：6月4日(金)
19:00～20:00
6月5日(土)
14:00～15:00
※どちらかにご参加ください
対象：高校生以上

楽器博物館 お仕事図鑑

移動楽器博物館



世界には、本当に数えきれないほどたくさんの楽器があります！さらに、それぞれの楽器の背景には、その楽器を作った人たちの生活、つまり「文化」が必ず存在します。そのため、世界の楽器を知ることは異文化を理解する良いきっかけにもなるのです。

そこで当館では、市内小学校に出向き、楽器の授業を行う「移動楽器博物館『わくわく楽器ランド』」を開催しています。授業で取り上げる楽器は、たとえば雨乞い用の楽器、通信手段を担った楽器、不用品をリサイクルして作った楽器、そして国語の教科書でお馴染みの『スーサの白い馬』に登場する馬頭琴などなど。見たことも聞いたこともない楽器の登場に瞳を輝かせ、時には「うお～！」と歓声を上げる子どもたちへの授業はどちらも楽しく、とてもやりがいを感じます。楽器の向こう側にある人々の暮らしに想像をめぐらせて、子どもたちに豊かな心を育んでもらえるよう、これからも楽しい授業をしていきます！

●令和2年度実施校：東小学校、与進小学校、新津小学校、村櫛小学校、鴨江小学校

1F | ミュージアムショップ

ANDANTE アンダンテ

店長
オススメの
逸品！

楽器博物館の思い出に、「ここでしか買えない」
お土産を。

ピアノをモチーフにしたオリジナルグッズや、
貴重なピアノのパーツを使ったキーホルダー。

- ①オリジナルピンバッジ
- ②オリジナルマグネット
- ③ピアノハンマー・キーホルダー

ピンバッジ／サイズ：(W)2.7×(H)3cm 価格：715円
マグネット／サイズ：(W)5×(H)5.5×(D)2.5cm 価格：880円
ピアノハンマー・キーホルダー／サイズ：(W)3.5×(H)7×(D)1cm 価格：1,540円



1F | カフェ

LOLO3RD CAFE ロロ サード カフェ

店長
オススメの
逸品！

ひちよつ
ひと
やすみ

世界の楽器を堪能した後は、
ゆっくりと余韻をお楽しみください。

専用のグリラーでプレス！外はカリッと
中は具材たっぷりのパニーニ。



LOLO名物
イタリアンサンドwich
(パニーニ)
価格：700円(税込)

営業時間 11:00～15:00 (L.O.14:30)、水曜定休

募集要項・お申し込み方法は
楽器博物館ホームページを
ご覧ください。

スマホの方は
こちらから▶



DNAを呼び覚ます。

この音色が日本人の

レクチャー
コンサート
No.198

伝統再発見

じな
きぬいと
語りの平家・地無し尺八・白繭の箏

2021.

5/29(土)

チケット発売
4/4(日)

アクトシティ浜松研修交流センター
音楽工房ホール

開場 1:30pm 開演 2:00pm

一般 2,500円 学生 1,000円(24歳以下の学生)

演奏

平家琵琶：菊央雄司
田中奈央一
日吉章吾
地無し尺八：志村禪保
八橋流箏曲：てん・仁智

プログラム

平家琵琶：《祇園精舎》
《木曾最期》
《逆櫓》
地無し尺八：明暗真法流《紫鈴法曲》
明暗真法流《瀧落》
明暗対山派《瀧落》
八橋流箏曲：《菜蕗》(第一歌)
《梅枝》
《九段》

日本の伝統芸能を未来へ繋ぐために

今日は聴かれる機会の少ない平家、八橋流箏曲、地無し尺八の演奏をお送りします。

『平家物語』は語りの芸能であったことをご存知でしょうか(「祇園精舎の鐘の声……」には節が付いていたのです!)。『徒然草』226段に「信濃の前司行長が生仮という盲人に平家物語を語らせた」という旨の一文があり、それが「平家物語」の成立についての最古の記述だとされています。芸能として800年もの歳月を生き続けてきているのは奇跡的とも言えます。ですが、集団的芸能の能楽や歌舞伎と違い、語りの『平家』はあくまで個人的なものであるために、また『平家』の担い手(当道という盲人組織)を庇護していた江戸幕府が終焉を迎えたために、そして「盲人男子に限る」という戦後の制約など、様々な理由で伝承が困難な状況になってしまいました。

また箏曲の礎を築いた八橋検校の演奏形態を残す「八橋流」も伝承が危ぶまれています。八橋流から派生した生田流・山田流は三味線音楽を取り入れ、爪や演奏様式が変化し、多くの曲が作られ、現在では五線譜で

の現代曲や洋楽器との合奏もよく行われます。江戸時代、八橋検校は当時流行りだした三味線との合奏を禁じたので、この一派はほぼ八橋作曲の独奏曲のみを弾くこととなりました。次第に八橋流は衰退し、絶えたとさえ思われていたほどです。

そして「地無し尺八」。尺八はお馴染みの楽器かもしれません、今回お聴きいただくのは「似て非なる」尺八です。演奏される志村禪保氏曰く「虚無僧尺八の伝承者には、いまでも自分で竹を掘り、孔を開けただけの地無し尺八を用いる方々がおられます。その音響世界は千差万別であるにも関わらず、共感力の強さを感じます。音楽制作にも合理性が力を持つ現代において、一方ではエコロジーに学ぶことで、よりよい未来を志向する手がかりを探すこと必要だと考えます。地無し尺八との対話によって」。

私たち演奏者は、これらが失ってはいけない大切なものだと感じており、未来に繋いでいかなければならぬと考えています。(てん・仁智)



【新型コロナウイルスの状況等により、内容の変更または中止となる場合がございます】

■チケットは楽器博物館、アクトシティチケットセンター、浜松市文化振興財団(HCF)オンラインショップ他にて発売。電話予約は楽器博物館へどうぞ。

■未就学児の入場はご遠慮下さい。公演中の写真撮影、録音録画は禁止です。 ■当日券は残席がある場合のみ発売します。

■本公演は2020年5月22日に開催を予定していた公演の振替公演です。



HCFオンラインショップ

イベントスケジュール 2021.4-2022.3

企画展



勇壮なラッパと華麗なるお囃子

開催中 ~5/11(火)

浜松まつりを盛り上げるラッパとお囃子。
まつりの歴史を紐解きながら、演奏される楽器
や音色について、紹介します。



ピアノづくりの移り変わり

~人と音とデザインと~

11/12(金)~2022.1/11(火)

ピアノはどこで生まれ、どのような経緯で発展したのか。その歴史やストーリーを紹介します。
浜松国際ピアノコンクールに合わせて開催。

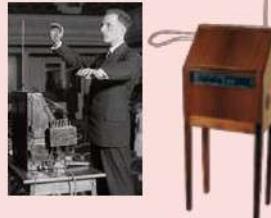


テルミン誕生101年

電子楽器の過去と未来

12/11(土)~2022.4/12(火)

テルミンは1920年に発明された電子楽器のパイオニア。テルミンを中心に、その後開発された様々な電子楽器を紹介します。



レクチャーコンサート

伝統再発見—語りの平家・地無し尺八・白繭の箏—

5/29(土) 14:00 音楽工房ホール

出演:志村禪保(地無し尺八)、菊央雄司(平家琵琶)
田中奈央一(平家琵琶)、日吉章吾(平家琵琶)
てん・仁智(八橋流箏曲)



—ピリオド楽器で奏でる—ピアノ四重奏曲

9/22(水) 19:00 音楽工房ホール

出演:川口成彦(フォルテピアノ)
コンソーネ弦楽四重奏団(イギリス)



フォルテピアノ

10/31(日) 14:00

音楽工房ホール

出演:羽賀美歩
(フォルテピアノ)



テルミン

出演:竹内正実 ほか
日時:未定



ワークショップ

青色LEDを使った テルミンを作ろう!

講師:山脇一休

2022年開催予定



ひとよぎり
一節切づくり

日時:未定
講師:相良保之

楽器作りワークショップ とり笛を作ろう!

日時:通常

※開催日はHPをご確認ください



ひとよぎり
一節切づくり

日時:未定
講師:相良保之

ミニ展示

- 鶴殿の葦 開催中～5/11(火)
- 正倉院楽器(模造) 4/29(木)～7/13(火)
- 地無し尺八 5/13(木)～6/8(火)
- スティングビー親子のオーボエ 6/10(木)～6/22(火)
- フリードリヒ大王のフルート 6/24(木)～7/6(火)

*スケジュールは中止、変更、追加になる場合がありますので、必ず事前に博物館ホームページ等でご確認ください

利用案内

- 開館時間／9:30～17:00
- 入館料／大人800円、高校生400円、中学生以下・70歳以上・障害者 無料
- 休館日／毎月第2・4水曜日(祝日の場合は翌日、8月は無休)、12/29～1/3、施設点検等の日:10/6(火)
- アクセス／徒歩：JR浜松駅北口より東へ徒歩10分
車：東名浜松I.C.・浜松西I.C.より車で30分、新東名浜松浜北I.C.より車で50分、
浜名湖・館山寺より車で40分
- カフェレストラン LOLO 3RD CAFE … TEL.053-451-3222 <https://www.actcity.jp/restaurant/>
- ミュージアムショップ アンダンテ … TEL.053-451-0300 <https://www.ms-andante.jp/>

専用駐車場はありません。アクシティ地下駐車場、市営駅北駐車場、コインパーキング等、周辺の駐車場(すべて有料)をご利用ください。



〒430-7790 静岡県浜松市中区中央3-9-1
TEL.053-451-1128 FAX.053-451-1129
<https://www.gakkihaku.jp>



指定管理 公益財團法人
浜松市文化振興財團

Hamamatsu Cultural Foundation

